

望月こうとく

2019年
2月号
2019年2月5日
発行

通信

望月こうとく政務活動事務所

〒224-0003 横浜市都筑区中川中央1-24-17 ベルージュスクエア2F
TEL&FAX : 045-532-9089 E-mail : info@khotoku.net



望月高徳 検索 <http://www.khotoku.net/>



皆さまの声が活動の羅針盤

横浜市議員
望月高徳

立憲民主党代表
衆議院議員
枝野幸男

前ぶれに、 進まずに、 進む!

望月高徳さんは、これまで2期8年にわたって横浜市議員として、皆さまの声を“活動の羅針盤”として実績をあげてきました。市民とつながり、日常の暮らしや地域の現場の声に立脚した活動は、まさに我が党が目指すボトムアップの政治そのものです。

困難を抱える人たち。様々な課題に果敢に挑戦する人たち。なんとか政治を変えたいと願う人たち。すべての皆さまの声を望月さんは受け止め引き続き、ご期待に応えていくに違いありません!

立憲民主党代表 枝野幸男

望月高徳(もちづきこうとく)プロフィール

静岡県出身。8人兄弟の末っ子。早稲田大学政治経済学部政治学科を卒業後、(株)野村総合研究所社員となるも、日々感じていた政治のあり方への疑問やあるべき姿を模索する中で同社を退社。学習塾経営や専門学校講師などを務めながら、選挙5度目の挑戦で2011年4月、横浜市議員に当選。現在2期目。本年で横浜市在住31年目。

皆さまの声を“活動の羅針盤”として、既得権に縛られず政治活動中。将来世代に責任ある財政運営の下、地域の安心・安全と暮らしやすさ向上のため全力投球!

政治信条は、公正、共生、寛容。政治を志す原点は、学生時代の新聞奨学生体験。立憲民主党所属。



- ① 小さな時から走るのは得意～幼稚園の運動会で
- ② 中学時代の地域の体育祭で
- ③ 中学3年生時に自宅で
- ④ 4年間暮らした大学の寮を卒業する際に



“都筑区 安心・安全な地域作り宣言” “都筑区 住み続けたい街作り宣言”

お金がかかるものは、優先順位をしっかりと考え順番に。

お金をかけずにできること、人の配置を替えるだけでできることは今すぐに。

予算がないなら知恵を出し、汗をかく!



望月が取り組んできたこと、取り組んでいること 更に取り組んでいきたいことの例

防災

- 地域防災拠点の全般的機能強化／災害用地下給水タンクなどの水道設備増強、災害時下水直結式仮設トイレの全拠点への配備、通信連絡設備などの充実。
- 災害時医療の確保／災害拠点病院や災害時救急病院の耐震化促進と機能強化。透析患者など命に関わる患者への医療提供能力の確保。
- 災害時ゴミへの対処／処理シミュレーションと処理計画作成、処理場所の確保。
- 水害・がけ崩れ対策／各種ハザードマップ情報の周知・徹底。発災時の情報の受伝達機能強化。定期しゅんせつ実施などの適切な河川管理。

防犯

- 希望する町内会・自治会への防犯カメラ設置支援。
- 街路灯・防犯灯の増設＆ワット数や形状を変えるなどの工夫。
- 交番での警察官の常駐化、交番の増設(ふれあいの丘駅周辺など)。

子育て支援、介護支援、福祉施策

- 待機児童・保留児童の解消。児童の居場所作り。小児医療費への助成の充実(2019年4月より中3生まで拡充予定)。
- 介護現場従事者の待遇改善。総合的な対策推進による認知症患者の減少。
- 障害者地域作業所工賃の増額、障害者の自立支援。

交通

- 地域の足の確保、地域交通サポート(ふれあいバス・コミュニティバス事業など)の推進。
- 駐輪場の増設。
- 公共的な空間のバリアフリー化、ユニバーサルデザインの推進。
- 狭小な道路、車道・歩道の未分離道路の整備。
- 市営地下鉄グリーンラインの混雑解消。

街づくり

- 港北ニュータウン理念を生かした街づくり。文化と読書が似合う街づくり。
- 市営地下鉄ブルーライン延伸をきっかけとする街の賑わい創出。
- 学校建て替えを生かした地域の拠点作りと活性化。

その他の分野を含め、住みやすく元気な地域づくりを目指して、区民の皆さまの声と知恵を結集!

- カジノにたよらない
横浜の賑わい作り推進。
- 家庭并当中心から
中学校給食実現へ。
- 原発は、地震国日本には不適。
できるだけ早期に廃止すべき。

あらためて、 望月の政治に対する思い。

望月は、議員となる前を含めると、政治活動を始めて約20年となります。この間、地方選挙4度の落選と2度の当選も経験しました。元々、政治に関わろうとした原点は学生時代にあります。それは生活費や学費をいかに工面し、学生生活を維持するか思い悩んだ時期でもありました。当時の政治のあり方に対して自分なりに疑問を抱き、未熟であったかもしれないけれど、若いからこそ描ける社会の理想を内に秘めていました。「あるべき方向に変えていきたい」、「誰かそれを実現できる人がいれば、その人を応援し、いなければ、それを自らやる」と考えていた青年時代でもありました。

政治は、もちろん全ての人たちのものです。その役目は、何よりも**全ての市民の生命と財産を守り、誰もが安心して暮らしていける社会を作ること**と考えます。だからこそまずは、**社会全体で手を差し伸べるべき人、真の社会的弱者に目配り、支援を届けられる政治が必要**だと思います。同時に、**真面目に真っ当に暮らす人たちの努力が報われる社会を作ることが、大事**だと考えます。

少子高齢化が進んでも、互いが他者への配慮と支え合いの気持ちを忘れず、他方で創意工夫と努力を怠らないで自らできることは自らなす精神で、未来に希望を持って進んでいけば、案外よい社会が、我が街・都筑でも、我が都市・横浜でも待っていると思います。

地縁、血縁、政治活動を進める上で必要なものは、思い以外ない望月に期待し、議会に送り出していたいただいた皆さまに報いられるよう、**引き続き、皆さまからの声を“活動の羅針盤”そして“力”として、ぶれずに前に進んでまいります。**

政治活動をご支援いただける 仲間・サポーター募集中

望月と一緒に政治を良くし、地域をいっそう住みやすくする活動をボランティアでお手伝いいただける方・個人カンパにご協力いただけるサポーターをただ今募集しています。また、市政レポート(壁新聞)掲示のお願いもしています。どうかご協力をお願いします。



詳しくは上のQRコードから

当レポートは、市政レポートに特化した“みんなの声の広場”とは別に、市政に限らず、望月の政治スタンスや考えを広くお伝えするため、不定期に作成しています。なお作成には、政務活動費を充当していません。